

苗木のスクールステイ

森林や身近な緑の大切さについて子どもたちをはじめとする多くの皆さんに知っていただくとともに、全国植樹祭の開催機運を高めていくため、大会等で使用する苗木の一部を、県内の小中高校等で育てていただいています。

種まきの様子



子どもたちに森づくりへの思いなどを書き込んでもらっています!

子どもたちの愛情を受けて順調に育っています!

トピックス

■1年前記念イベント森の誕生日2019を開催します!

日時 4月29日(月・祝)9:30~15:00 会場 ふるさと森林公園(松江市) 参加費 無料
記念式典、植樹行事、飲食ブースや体験型ブースなど盛りだくさん!お誘い合わせのうえご来場ください!

■各地で県民参加の森づくりが行われています!



2月22日に益田市で開催された「森で海を救おう事業」の様子

■顔出しパネルで大会をPRしよう!

大会シンボルマークを使用した顔出しパネルを作成しました!1年前記念イベントや県内各地に登場予定です。登場場所は公式Facebookでもお知らせします。パネルを見かけたら顔出し写真を撮影してSNSへアップしてね!



ご協賛いただいた企業・団体をご紹介します!



※平成31年3月15日現在。協賛額10万円以上の企業・団体を金額・申込順に掲載。

大会への協賛企業・団体を募集中です!資金の提供だけでなく、記念品や物品の提供、運送や広告の協力など様々な形で協賛いただけます。ご協力いただける場合は、お問い合わせください。

ロゴマークをご使用いただけます!

ロゴマークは大会の趣旨にご賛同いただける皆様にお使いいただけます。使用する場合は、申請が必要です。詳しくはホームページをご覧ください。



お問い合わせ

第71回全国植樹祭島根県実行委員会事務局
(島根県農林水産部林業課全国植樹祭推進室内)

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
TEL0852-22-6558
FAX0852-22-6528

公式サイト

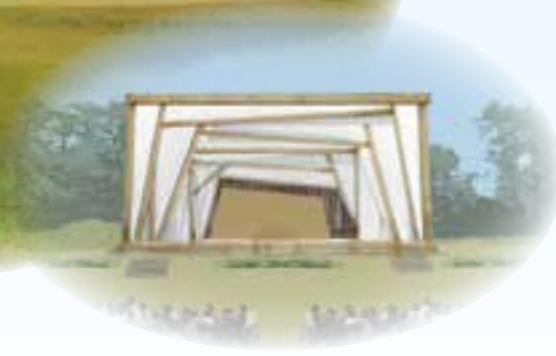


発行:平成31年4月

しまね2020 全国植樹祭だより

第2号
平成31年

第71回全国植樹祭の開催準備を進めています!



第71回 全国植樹祭 しまね 2020
木でつなごう 人と森との 縁(えにし)の輪

第71回全国植樹祭とは?

2020年春季に島根県大田市三瓶山北の原で開催する第71回全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるために、公益社団法人国土緑化推進機構と島根県の共催により行う国土緑化運動の中心的行事です。

大会当日は、県内外から多くの招待者をお招きし、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、御収穫などの記念式典や招待者による記念植樹が行われます。

島根県では、昭和46年に今回の会場と同じ大田市三瓶山北の原で第22回大会を開催して以来49年ぶり2回目の開催となります。

第71回全国植樹祭の 基本計画が決定しました！

～平成31年2月に策定した基本計画に沿って開催準備を進めるとともに、様々なPR活動を実施します。～

島根県の特徴を活かした大会の基本方針

- ①循環型林業の実現に向けた木材利用や森林づくりの発信
- ②県民参加の森づくりの推進
- ③島根県の歴史文化や豊かな自然等の魅力発信

式典・大会の開催方法

第22回全国植樹祭(昭和46年)、第15回全国育樹祭(平成3年)、第71回全国植樹祭(2020年)を通じて、植樹、育樹、収穫利用、植樹を同じ会場(三瓶山北の原)で実施することにより、「緑の循環」を実現します。

緑の循環のイメージ

第71回全国植樹祭(2020年)

クロマツの収穫跡地を植樹会場とし、針葉樹・広葉樹を植樹
(写真は植樹後の将来のイメージ)



収穫したクロマツをお野立所の一部など大会関連施設に利用(写真はお野立所イメージ図)



第22回全国植樹祭及び第15回全国育樹祭の会場のクロマツを収穫し加工

第22回全国植樹祭(昭和46年)



参加者によるクロマツの植樹の様子



第15回全国育樹祭(平成3年)



第22回全国植樹祭で植樹したクロマツの間伐作業の様子

開催時期
2020年春季

開催規模
招待者4,000人程度
(うち県外から1,150人程度)



開催会場
(大田市三瓶山北の原)
イメージ図

大会テーマ

『木でつなごう 人と森との 縁(えにし)の輪』

作者:吉田 隆博さん(島根県大田市)

大会シンボルマーク



作者:松浦 康友さん
(島根県出雲市)

大会ポスター原画



作者:宮口 泰翔さん
(島根県出雲市立高浜小学校4年)
平成30年度時点

式典演出計画

緑の循環を進める決意を全国にアピールするとともに、参加者の心に残る式典行事を実施します。式典行事の構成は、「プロローグ」「式典」「エピローグ」の3部構成とします。

プロローグ 学ぶ～森話のはじまりを学ぶ～

参加者を歓迎する気持ちを表現すると共に、島根県において神話の時代から育まれてきた緑の循環の歴史を全国からの参加者に紹介します。

記念式典 誓う～新たな森話を誓う～

天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き、御収穫、国土緑化功労者等の各種表彰、大会宣言、次期開催県へのリレーセレモニー等を行います。
開催理念や大会テーマ「木でつなごう 人と森との縁(えにし)の輪」をわかりやすく表現し、新たな緑の循環への誓いを発信します。

エピローグ 結ぶ～緑のご縁を結ぶ～

全国からの参加者と、ご縁の国島根との「緑のご縁」を結ぶグランドフィナーレです。

※森話(しんわ)とは、木を「伐って・使って・植えて・育てる」新たな緑の循環に向けての人々の営みを表す造語です。

お手植え・お手播き・御収穫

記念式典では、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き・御収穫を行います。
お手植え・お手播きの樹種は、島根県の自然環境に適した在来の樹種で、県民に親しみのある樹種を選定しています。
また、昭和天皇並びに香淳皇后が第22回全国植樹祭(昭和46年)でお手植えされたクロマツは、第15回全国育樹祭(平成3年)での皇太子徳仁親王殿下によるお手入れを経て、利用期を迎えています。このクロマツの御収穫を記念式典のなかで行います。これは全国で初めての取り組みです。

天皇陛下・お手植え樹種



スギ



コウヤマキ

天皇陛下・お手播き樹種

クロマツ・エノキ

皇后陛下・お手植え樹種



ヤマザクラ



シャクナゲ

皇后陛下・お手播き樹種

アカマツ・クルミ



今回御収穫いただく第22回大会で昭和天皇並びに香淳皇后がお手植えされたクロマツ